

人を 苅田を 地球を 想う ～今こそ行動 SDGs～

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS × KANDA



苅田町 HP
SDGs ページ

持続可能なまちづくりに向けて 南原小の児童が町長に提案

昨年に引き続き、南原小学校の6年生が、社会科の学習で学んだ「江戸の文化と学問」をSDGsと結び付けて、持続可能な社会について主体的に考え、実践する総合学習に取り組みました。

3月9日には、南原小学校6年生の代表者6名が町長室を訪れ、これらの学習の中で作成したポスターや冊子を紹介しながら、取組みの内容を町長、教育長に報告。住み続けられるまちにするための「苅田町未来地図」や「SDGs すごろく」など、小学生ならではの視点で、独創的な取組みが紹介されました。

また、ごみのない綺麗な町にすることやジェンダー平等を実現するための提案がされ、それらをまとめた提案書を町長に手渡しました。町長は「皆さんからの提案は町のSDGs推進の後押しになります。しっかり読ませていただきます」と提案書を受け取りました。

談笑の中で、町長から「SDGsの勉強をしてどう感じましたか？」と聞かれた子どもたちは、「ゴミを分別する、食べ残しをしないなど普段の何気ない行動がSDGsの達成に繋がっていると気づきました」と話し、SDGsは個人一人ひとりの行動がガキを握っているという思いを自分の言葉で伝えることができました。

町としては、南原小学校の皆さんの想いをしっかりと受け止め、持続可能な苅田町を実現するために、SDGsの推進に取り組んでいきます。



地域経済のさらなる活性化に期待！

北九州空港の滑走路延長事業と 苅田港国際物流ターミナル整備事業が決定



国土交通省が令和5年度予算を公表し、「北九州空港の滑走路延長事業」と苅田港新松山地区の「国際物流ターミナル整備事業」の決定を発表しました。

「滑走路延長事業」は、現在の2500mの滑走路を南側（苅田町側）に500m延長し、3000mに延長するものです。これにより、北九州と欧米を直接結ぶ大型貨物機の運航が可能になり、物流拠点としての機能強化が期待されます。

「苅田港国際物流ターミナル整備事業」は、船舶の大型化や工業団地の分譲による新規取扱貨物の増加などに対応するため、新松山地区に新たに水深12mの岸壁や泊地などを整備するものです。これ

により、大型船での大量輸送が可能となるほか、効率的な物流が実施されることで、既存産業の活力の維持・工場及び新規分譲用地への新規企業の立地等が期待され、地域経済の活性化や新たな雇用創出が期待されます。



▲遠田町長や福岡県知事が出席した「北九州空港滑走路延長事業 新規事業採択 共同記者会見」